

令和８年度第２回総合計画審議会行財政専門委員会（会議概要）

○日 時 令和８年７月２８日（火）午後３時１５分から

○会 場 鶴岡市役所別棟２号館２１～２３号会議室

○発言概要

<令和８年度優先協議項目の選定にあたっての視点>

- ・前回事務局に依頼した、市の単独事業で一般財源負担や業務負荷が大きい事務事業等５１件の説明があった。これらを専門委員会で協議していくことになるが、日程的にみると今年度優先して協議する項目は５件程度と考えている。リスト以外の事務事業等で議論すべきものがあれば提案いただきたい。
→ 委員から追加の提案はなく、事務局案どおり、協議事項を５１件として、うち５件程度を今年度優先協議事項とすることとなった。
- ・事務局案では、選定するにあたって初めに「選定の視点」を協議し、その視点に基づいて５１件から５件程度を選定するとあるがいかがか。
→ 全会一致で事務局案が承認された。
- ・事務局提案の「視点１：所期の目的が市民ニーズの変化や今後の社会変容に適合しているか」「視点２：目的の達成度が停滞・悪化するものは今後改善が見込めるか」「視点３：業務負荷が過大となっているものは今後改善が見込めるか」は、選定基準としても行革推進の視点としても妥当なもの考える。
- ・事務局案の視点は妥当である。視点１に関連して、事業の廃止・縮小に対して市民の理解が得られるかという視点が必要ではないか。
- ・サービスを多く受ける方とそうでない方がいるのでないかということから、受益者負担の妥当性といった視点が必要ではないか。
- ・財政上の制約もあるなかで、市の類似施設の存在や民間施設との競合の観点から妥当かどうかという視点が必要ではないか。
- ・民間活用の視点も必要ではないか。民間との役割分担や民間活用によって、サービスの向上やコスト削減による市の負担軽減に繋がるのではないか。

- ・事務局提案の3つの視点に加え、委員から4つの提案があった。以下の7つの視点に基づいて今年度優先協議項目を選定してよろしいか。

【視点1】所期の目的が市民ニーズの変化や今後の社会変容に適合しているか

【視点2】目的の達成度が停滞・悪化するものは今後改善が見込めるか

【視点3】業務負荷が過大となっているものは今後改善が見込めるか

【視点4】事業の廃止・縮小に対して市民の理解が得られるか

【視点5】受益者負担の観点で妥当かどうか

【視点6】市の類似施設の存在、民間競合の観点から妥当かどうか

【視点7】民間活用により更なるサービス向上・負担軽減が見込めるか

→ 全会一致で上記7つの視点が承認された。

＜令和8年度優先協議事項について＞

- ・視点1、視点2の観点で「No.5. デマンド交通のあり方」を議論してはどうか。地域交通の空白地区の解消は重要だが、民間事業者だけでは立ち行かなくなってくる。実証運行では利用者数に対するコストが大きく、財政的に持続可能な方法か検証する必要があるのではないか。
- ・視点3の業務負荷の観点から「No.7. 窓口業務の民間委託」はどうか。市役所の窓口を民間に委託することに否定的な方もいるかと思うが、他市で行っているところもある。
- ・視点5の受益者負担の観点で「No.11. 健康診断・予防接種の負担のあり方」はどうか。健康増進のため行政が支援することが必要であるが、コストが上がっていくなかで、全ての方を一律に支援することを継続可能なのか考えるべき。
- ・類似施設、民間競合の観点から、複数項目に渡っている温泉施設、「No.10. 公衆浴場」「No.36. ぽっぽの湯」「No.42. ゆーTown」「No.47. ぼんぼ」を一体的に比較検討して整理する必要があるのではないか。また、リストに上がっていないが、羽黒のゆぼかは利用料金制で収益確保ができていますが、比較対象として検討してはどうか。
- ・「No.8. ごみの有料化」について、ごみ袋の製造台と販売価格がほぼ同じであるため一般財源負担は0と記載があるが、収集から処理、最終処分までのごみ処理費用は15億円がかかっている。

- ・ごみの減量化についても大きな課題になると考えている。今のままだとごみ減量に繋がらないため、有料化とごみ減量をセットで検討する必要がある。
 - ・行政コストが大きく、そのコストはごみを多く出す方が負担するのか妥当かという受益者負担の視点で「No.8. ごみの有料化」について提案したい。
-
- ・「No.21. 農業経営者育成学校（SEADS）のあり方」は見直しを検討してはどうか。受益者が限定していて市民全般に影響があるものではないと考える。
 - ・県の施設を改修して学校施設にした。改修には多くの費用が掛かっていると認識している。他県の教育施設をみても、もっと運営をうまくやっているところもある。運営の見直しという観点から検討対象としてはどうか。
-
- ・選定の視点に基づき6件の提案があったが、以下のとおり今年度優先協議項目を選定してよろしいか。
 - ①No.5 デマンド交通のあり方
 - ②No.7 窓口業務の民間委託
 - ③No.8 ごみの有料化
 - ④No.10 公衆浴場のあり方
 - No.36・42・47 日帰り温泉入浴施設（ぽっぽの湯・ゆーTown・ぼんぼ）の運営
 - ⑤No.11 健康診断・予防接種の負担
 - ⑥No.21 農業経営者育成学校（SEADS）のあり方
- 全会一致で上記6件が今年度優先協議項目として承認された。また、次回以降協議していく順番は、委員長と事務局で検討後に示すこととした。